

NOSAI 高知

2016
新年号

第7号



CONTENTS

- 新年の御挨拶
- 年男・年女 等

「津野山古式神楽」(津野町)

—NOSA Iは農家のセーフティネット—

コンプライアンスの徹底により 信頼される組合目指す

新年のご挨拶

組合長理事 松田 達夫



新年明けましておめでとうございます。

皆様には希望と期待を抱き、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

NOSA I 高知も県一組合になりまして今年4月より3年目となります。これまで組合員の皆様のご理解とご協力によりまして少しずつ前進をしながら事業推進に努めているところであります。

昨年はTPP交渉が大筋合意に至りましたが、その内容は日本農業にとっては

大変厳しいものとなっております。これから多くの農畜産物が海外から輸入され、長期的に見ると国産農産物価格の下落が懸念されます。農業の人口減少が進む現状の中で農家からは将来の農業に対する不安感が広がっており、政府には国内対策に万全を尽くすよう願うものであります。

さて、近年は突発的な自然災害が頻発する中、NOSA I 制度の役割はますます重要となっております。昨年も台風の襲来や突風により施設園芸を中心に被害が発生しており、被害に遭われました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

園芸施設共済は昨年2月に制度の見直しにより補償が大幅に拡充されました。特に、耐用年数経過後の補償価額が再建築価額の20%

から50%に引き上げられたことにより、多くの園芸農家から評価をいただいています。今後も補償制度の充実には農家のご意見を踏まえ、引き続き努力してまいります。

また、農畜産物の価格下落による収入の減少を補てんする収入保険制度につきましても平成29年度に関連法案が提出予定であり、法制化とともにNOSA I 制度の改正も予定されております。NOSA I としても収入保険制度を担うことができるよう検討調査事業などに全国組織を挙げて取り組んでいるところです。

最後に、NOSA I は予算の多くが国の補助金によって運営されている非常に公共性の高い団体であります。役職員一人一人がその責任の重さをしっかりと認識し職務に励むべきと考えます。これからもコンプライアンスの徹底に努め、信頼ある組合を目指し農家のセーフティネットとして機

能を果たしてまいります。

本年も何卒宜しくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

組合長 松田 達夫
副組合長 門田 博文
理事 谷末 達雄
吉永 義量
中川 好男
中澤 愛水
岡村 彰
竹平 豊久
大野 哲
北村 正文
久保田彦昭
和田 眞司
中澤 芳
廣瀬 英策
藤原 健祐
大野 彰
宮地 章一
明神 健夫
福永 早苗
所谷 頼尚
大西 章一
北川 俊一
野中 清文
竹添 文明

代表監事
監事



昭和55年生まれ
須崎市 嶋崎 賀寿也さん



昭和55年生まれ
安田町 斉藤 美穂さん



平成4年生まれ
黒潮町 宮川 恭誓さん

年男・年女 2016



平成28年は『申年』です。申年の人は「好奇心旺盛で頭が良く、何でも器用にこなす」といわれています。

今年も年男・年女の方々に一年の抱負を書いていただきました。



昭和31年生まれ
大豊町 吉川 惣夫さん



昭和43年生まれ
高知市 小島 千代香さん



昭和43年生まれ
香美市 田村 文男さん



◆園芸対象病害の追加について

昨年10月から園芸施設共済の共済金支払対象病害としてナス、ピーマン及びシシトウのフザリウム菌による「立枯病」を追加しました。

病気の特徴は、葉が水分を失って緑色を保ったまま萎れます。こうした株の基部には表皮のひび割れ、陥没が見られ、主に赤い小粒（子のう殻）が形成されている場合が多くなっています。

共済金の支払いにあたっては、防除対策やその他の管理等を考慮し、分割割合（共済金算定において減額される割合をいいます）を50%と設定しました。

万一、発症した場合は速やかに最寄りのNOSA I（支所）までご連絡をお願いします。

（写真提供…農業技術センター）



枯死部分に発生した子のう殻

◆共済金の支払い状況について

平成27年産水稻共済の被害をとりまとめ、共済金約3千680万円を12月17日にお支払いしました（左表参照）。

平成26年のような大きな風水害には見舞われませんでした。早期稲・普通期稲ともに長雨と日照不足によるイモチ病等の病害が発生し、また山間部を中心にイノシシによる獣害が多発しました。

平成27年産水稻共済被害状況

支所名	戸数	面積	支払共済金
安芸	94 ^戸	2,103.2 ^a	3,954,172 ^円
香美	70	928.9	3,151,020
土佐	79	1,768.3	5,205,384
中央	53	768.7	2,219,020
四万十	153	3,644.8	8,209,320
幡多	251	7,263.1	14,114,455
合計	700	16,477.0	36,853,371

また、平成27年産のハウス温州ミカンについて、台風被害により減収となった農家に対し、約160万円の共済金を12月17日にお支払いしました。

◆水稻異動申告票の提出について

まもなく、水稻共済細目書異動申告票の受付が始まります。配布については、個人への配布又は面談での受付となりますが、その方法はお住まいの市町村によって異なります。

お配りする異動申告票には昨年（27年度）の作付状況を記載していますので、お手元に届きましたら、28年度の作付予定を筆ごとに記入し、押印の上、期限まで（提出期限は異動申告票配布時に連絡をいたします）に提出をお願いします。

なお、面談で受付を行う市町村の場合は、受付時に28年度の作付予定を担当者にお知らせ下さい。

記載方法など、不明な点がありましたらお近くのNOSA I（支所）までお問い合わせをお願いします。

※水稻の作付予定がない場合でも提出いただくようお願いします。

※今年初めて水稻を作付けされる方、水稻を作付けしているのに異動申告票が届かない場合は、お近くのNOSA I（支所）まで連絡をお願いします。

◆掛金等の口座振替について

NOSA Iではすべての事業において、共済掛金等を「口座振替」で納入していただくようお願いをしています。NOSA I事業の適正運営と現金取り扱いに伴う事故などを防ぐため、「口座振替」にご理解とご協力をお願いします。

口座振替手続きがお済みでない方には、NOSA Iから手続きの依頼をさせていただきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆農業共済新聞を読みませんか

農業共済新聞は農業専門紙です。創刊以来、「農家に学び、農家に返す」を編集方針として毎週水曜日に発行しています。

NOSA I事業の説明やNOSA I団体の動きはもとより、農政、営農技術、暮らしや農産物流通など、農家の営農と暮らしに役立つ情報を提供しています。

NOSA Iでは、試し読みキャンペーンを実施しており、2カ月の試し読み（無料）後、引き続き1年間の年極購読（年間購読料4680円）を申し込みいただくと、NOSA Iグッズなどをプレゼントいたします。

キャンペーンへの申し込み・お問い合わせは、本所広報担当までお願いします。

農機具 譲ります！

今回も新しい使用者を探している農機具を紹介します。譲り受け希望者は、本所広報担当者まで連絡をお願いします。出品者をご紹介しますので、価格等をご相談下さい。なお、紹介は1月20日からとなります。

※NOSA Iは紹介のお手伝いのみを行い、購入者や価格の決定等の仲介は行いませんので、ご了承下さい。

		メーカー	ミツビシ
		型式	G-352P
年式等	年式不明。		
希望価格	3万円	市町村	土佐市
その他	動作確認済。		

		メーカー	八鹿鉄工
		型式	SK-18BM
年式等	年式不明。		
希望価格	12万円	市町村	土佐市
その他	動作確認済。		

		メーカー	丸山
		型式	MS703
年式等	年式不明。未使用。		
希望価格	10万円	市町村	土佐市
その他	動作確認済。2台有り。		

		メーカー	永田製作所
		型式	—
年式等	年式不明。		
希望価格	5万円	市町村	土佐市
その他	動作確認済。		

		メーカー	ホンダ
		型式	—
年式等	年式不明。		
希望価格	13万円	市町村	土佐市
その他	動作確認済。		

		メーカー	クボタ
		年式	不明
型式等	RAINBOW S1-40		
希望価格	10万円位	市町村	南国市
その他	動作確認済。使用年数20年。		

使っていない農機具はありませんか？ 譲り渡しを希望される方は、お近くのNOSA Iまで連絡下さい。



室戸市
安岡 学さん (61)
将樹さん (35)

独立経営が目標

室戸市羽根町でハウスナス38^ルを栽培する安岡さん親子。
「就農するのに特別なきっかけはなく、自然に後を継いでくれました」と話す学さん。
将樹さんは、就農して10年。



ハウス17^ルを3年前から1人で栽培管理しています。

「毎作違うので、全てが大変ですが、指示するわけではなく、指示されるわけでもない。自分で仕事の段取りやペースを決められるのが良いところかな」と笑顔を見せます。

園芸研究会などには、将樹さんが参加し、増収や技術習得のために努力を重ねており、青壮年部郡部長を務めるなど、地域でも活躍しています。

「独立経営が目標」と話す頼もしい将樹さんに、学さんは「自分のやり方を確立していつてほしい」と話し、親子の信頼関係と将樹さんへの期待を感じさせてくれました。



南国市
三谷 佳名さん

「外孫も南国市内におるき、再々来よらあね」と話す祖母の三谷佳名さん。約13^ルのハウスで水菜を、約3^ルのハウスで産直用の野菜を息子の和彦さんと栽培します。水菜は播種から収穫までの日数が早く、太りすぎないように、何日も休まないように次々に作業が繰り返されます。「毎日休む間もないけれど、JAに持って行くとき産直にも出荷するき手間はいいらんよ」と佳名さん。



祖母と一緒に真由ちゃん、佳穂さん、憲亮くん

【家族構成】

祖母	三谷 佳名さん (68)
父	和彦さん (46)
母	彩子さん (45)
長女	真由ちゃん (4)
父	坂本 篤則さん (46)
母	直美さん (44)
長男	憲亮くん (15)
長女	佳穂さん (12)

真由ちゃんはおしゃれに興味が出てきて、花や髪につけるリボンが大好き。現在は、字や数を覚えるのに夢中だそうです。

「保育士になりたい」と話す佳穂さんは、子どもが大好きで、相手の年齢に合わせて話をする事ができます。

憲亮くんは、小学校からサッカーをしていて、「高校に行っても続けたい」と話します。また、農業高校の体験入学で農業に興味を持ったらしく、「農業を継ぎたい」と言ってくれたそうです。

「ケガや病気もせず、元気に育ってほしい」と佳名さんは話してくれました。

RECIPE

里芋のコロッケ



○ 材料 (4〜5人分)

里芋	7〜8個	《衣用》	
シラス干し	一握り	小麦粉	適量
細ネギ	適量	卵	適量
塩こしょう	適量	カツオ節	適量

○ 作り方

- 1 里芋をゆで、皮をむく。
- 2 1をつぶし、細かく刻んだネギとシラス干しを加え、塩こしょうをお好みで入れて混ぜ合わせる。
- 3 2を丸めて、小麦粉→卵→カツオ節の順で衣付け。
- 4 180度の油で揚げる。

「中に入ったシラス干しの風味と、パン粉代わりのカツオ節が香ばしくておいしいですよ」と調理しながら話すのは四万十町寺野の北川愛里さん(26)。

J Aに勤める北川さんは、仕事の関係で農家女性と料理をすることが多く、季節ごとの野菜を上手に利用しています。「本当は作るより食べるほうが好きなんです」と笑顔で話します。

冬場にかけて産直市などに並ぶことの多い里芋は、カリウムが豊富で、余分な塩分を排出して、高血圧を予防するといわれています。

里芋のコロッケは、そのまま食べてもおいしいですが、ポン酢ダレに大根おろしを添えて食べると、あっさりして良いそうです。



調理をする北川さん

おいでませ

山田堰と野中神社

(香美市)

香美市土佐山田町にある「山田堰」は、同町小田島から神母ノ木にかけて物部川を横断する水取り堰で、寛永16年(1639年)、土佐藩家老の野中兼山が築いたものです。物部川は、流量に比べて河川距離が短く、高低差が大きいいため、急流、暴れ川としても知られ、度々洪水を起こしており、山田堰は完成まで26年を要したといわれています。



この堰は下流の平野を潤し、多くの米収を得、また舟入川の運輸を利用することにより土佐藩の経済に大きく貢献しました。約300年経った現在でも、一部は立派な姿をとどめており、その様子は感慨深いものがあります。

また、同町中組にある野中神社は、兼山の四女・婉が旧臣古楨氏の協力を得て兼山と一族の祖霊を祀った霊廟で宝永5年(1708年)に建立されました。「お婉堂」とも呼ばれ、本山町出身の大原富枝が小説『婉という女』を発表し、婉の名は広く知られることとなりました。今でも野中兼山や婉を偲ぶ人たちが多く訪れています。

NOSAI クイズ

佐川町でブルーベリーを自社で栽培し、ジャムなどの加工まで手がける「島崎商事(株)」。

クイズの正解者の中から10名の方に「ブルーベリージャム・焼き菓子詰合せ」をプレゼントします。奮ってご応募下さい。

●問題

このほど、園芸施設共済の共済金支払対象病害として追加されたフザリウム菌による病気は「何病」でしょうか？(ヒント：4ページ)

●応募方法

はがきに、①クイズの答え②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥NOSAI、広報紙への感想や意見⑦身近な情報——などを記入の上、ご応募下さい。

●応募の宛先

〒780-0861 高知市升形10-5
NOSAI 高知 NOSAI クイズ係

●応募締め切り

平成28年1月31日(日) 当日消印有効

※応募によって得られた個人情報、賞品の発送以外の目的には使用しません。



780 0861
NOSAI 高知
NOSAI クイズ係

高知市升形10-5

- ・クイズの答え
- ・住所
- ・氏名
- ・年齢
- ・電話番号
- ・NOSAI、広報紙への感想や意見
- ・身近な情報

農家の声

組合広報紙にたくさんのご意見・感想をいただき、ありがとうございます。一部を紹介します。

◇各地域でこだわりと愛情を持ち収穫したブランド米はとてもおいしいと思います。食事のいいしさは米で決まります。(67歳・女性)

◇同じお米なのに、なぜか我が家で食べるお米が一番おいしい！(55歳・女性)

◇電気さくらの安全確保は非常に大切なことです。参考になりました。(65歳・男性)

◇両親が精出して行っていた農業の大変さや喜びが、この年になってわかってきたような気がします。(56歳・女性)

◇昨年より研修生となり、今年初めてキュウリをハウスで作るようになりました。(57歳・男性)

◇若い人が農家を継いで頑張っているのは、少しぐらい高くても買って応援したいです。(62歳・女性)

◇日高村のおいしいオムライス早く食べに行きたいと思います。(78歳・男性)

●No.6クイズ当選者発表

前川 みな(香南市)
小松 立子(香美市)
坂本 幸子(津野町)
岡林恵美子(越知町)
大谷 信子(黒潮町)
吉本 高子(南国市)
杉本 信量(大豊町)
河添香代子(佐川町)
小松 智美(安芸市)
(敬称略)
「ひがしやま」をお送りしました。

【表紙写真】

津野山古式神楽は、延喜13年(913年)藤原経高が京より津野山郷に來国したときに、神話を劇化したものを神楽として伝えたことが始まりとされています。

五穀豊穡、無病息災を祈願して秋祭りには氏子が神社へ奉納しますが、全部で17の舞があり、舞い納めるには約8時間を要します。

昭和55年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

発行：高知県農業共済組合

編集：総務課

発行日：平成28年1月1日

〒780-0861 高知市升形10番5号

TEL088-822-4346

FAX088-822-4349

安芸支所 TEL0887-35-2275 / 香美支所 TEL0887-56-1127 / 土佐支所 TEL088-864-2220

中央支所 TEL0889-24-5611 / 四万十支所 TEL0880-22-4333 / 幡多支所 TEL0880-37-5537

